

D99 シリーズ用遠隔監視ソフト Surveillance Client からの映像確認方法

パソコンやスマートフォンからインターネットや LAN を経由して当製品の映像を確認することができます。

1、DVR の設定

パソコンに設定を行う前に、DVR に設定を行います。

1、「メインメニュー」>「パラメータ」>「ネットワーク」と選択する。

2、「スタティック」を選択し、各項目を設定する。

— クライアントポート: デフォルトで 9000 が設定されています。番号は、1024 から 65535 番までの間で任意に決定することが出来ますが、一般的に WEB サーバの場合は 8000 番台がよく使われます。他の機器に設定されていない番号を設定してください。セキュリティー機能を高めるためには、デフォルト以外の番号で運用されることを推奨します。このポート番号は、遠隔監視ソフト Surveillance Client の Media Port の番号に対応しますので、Surveillance Client でも同じ番号を設定します。

— IP アドレス: LAN 側プライベート IP アドレス(ユーザー独自の職場や家庭のローカル LAN のアドレスで 192.168.000.XXX のようなものになります)。インターネットサービスプロバイダーから固定 IP アドレスを含む条件での契約時に提供される 220.96.XX.XX などのグローバル IP アドレスではありませんのでご注意ください。

— サブネットマスク: 接続するネットワークの環境に合わせてサブネットマスクを入力します。通常 255.255.255.000 が利用されます。

— ゲートウェイ: 接続するネットワークの環境に合わせてデフォルトゲートウェイを入力します。通常ルーターのアドレス(例えば 192.168.000.001) が利用されます。

— DNS: 接続するネットワークの環境に合わせて入力します。インターネットプロバイダ、またはネットワーク管理者より DNS サーバアドレスが通知されている場合は、そのアドレスを入力します。詳しくは、インターネットプロバイダのサポート窓口または、ネットワーク管理者にご確認ください。

3、UPNP を必要に応じて「有効」にする。「有効」にすると、ルーターの設定が必要なくなります。「無効」の場合はルーターの設定が必要です。

※UPNP を使用すると設定も簡単で便利ですが、回線が混み合う時などには接続が短時間で途切れることがあります。より安定した遠隔監視には、インターネットサービスプロバイダーとの固定 IP アドレスの契約、又は DDNS サービスプロバイダーとの DDNS 契約し、UPNP を使わない方法を選択してください。

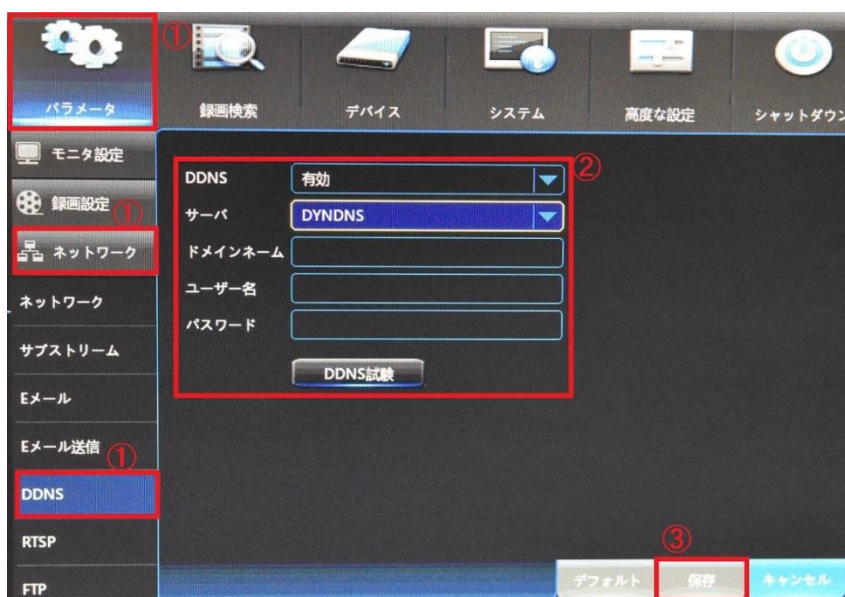
4、「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。



DDNS を使用する場合

※事前に DDNS サービスとの契約が必要です。DDNS サービスは、下図のサーバの項目中にあるサービスプロバイダーの中から選択し契約します。

- 1、「メインメニュー」>「パラメータ」>「ネットワーク」>「DDNS」とクリックする。
- 2、各項目を設定する。
 - DDNS:「有効」にする
 - サーバ: 契約したサービスプロバイダーを選択する
 - ドメインネーム: DDNS 契約時に取得したものを入力する
 - ユーザー名: DDNS 契約時に取得したものを入力する
 - パスワード: DDNS 契約時に取得したものを入力する
- 3、「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。



2、遠隔監視ソフト Surveillance Client の設定

1、同梱の CD をパソコンに挿入し、「Surveillance_client_P2P_1.1.53_2015_07_14.exe」のファイルをダブルクリックし、ソフトをパソコンにインストールします。

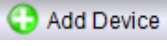
2、インストール終了後、デスクトップに表示されるソフトのアイコンをダブルクリックすると、下図のようなログイン画面が表示されるので、各項目を入力し「Login」ボタンをクリックします。

- User Name: admin
- Password: デフォルトは設定なしの空欄

※セキュリティー機能を高めるためにはパスワードを設定されることを推奨します。設定したパスワードは忘れないように記録しておいてください。パスワードの設定は最後のページをご参照下さい。



3、ソフトが起動したら「Group Device」 タブをクリックします。

4、「Add Device」 ボタンをクリックすると下図の画面が表示されるので、各項目を設定する。

— Device Name: DVR の任意の名前を入力する。

— IP/ID: DVR のグローバル IP アドレス(固定 IP アドレス)、またはドメインネーム、あるいは DVR の QR コード下の ID を入力する。グローバル IP アドレス(固定 IP アドレス)は、インターネットサービスプロバイダーと固定 IP アドレスを含んだ条件で契約する必要があります。ドメインネームは DDNS サービスプロバイダーとの DDNS 契約が必要です。

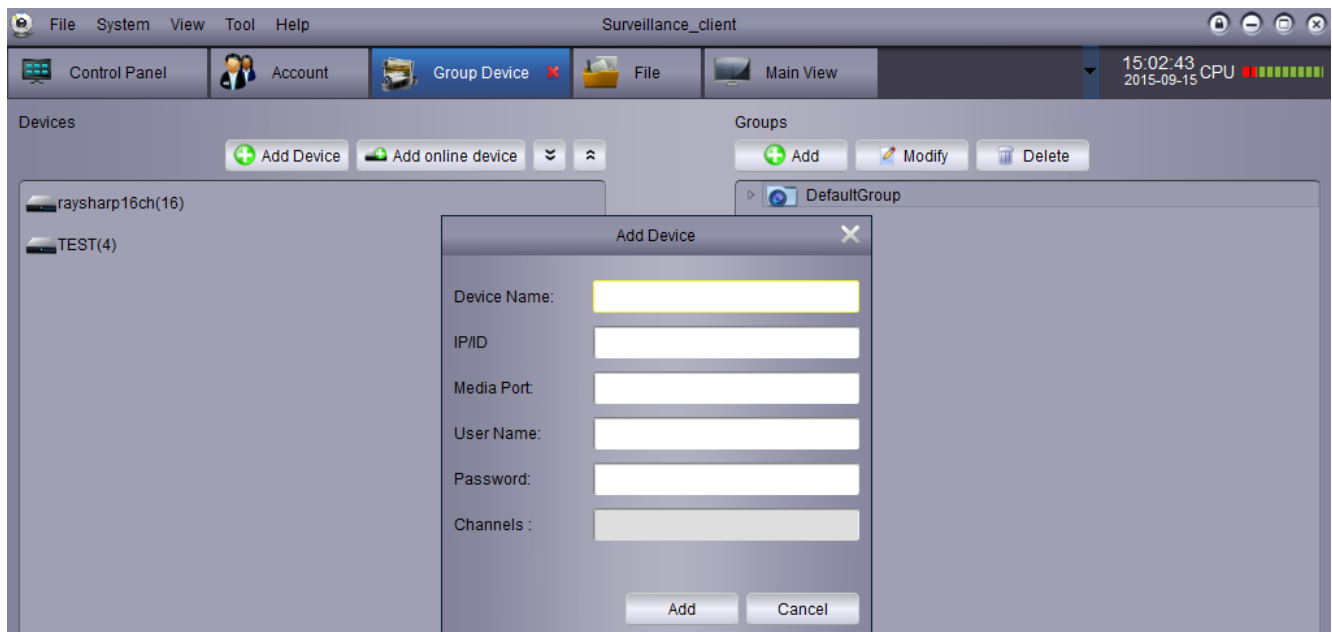


— Media Port: DVR に設定されているクライアントポートの番号を入力する。デフォルトは 9000

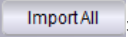
— User Name: DVR に設定されているユーザー名を入力する。デフォルトは admin


— Password: DVR に設定されているパスワードを入力する。デフォルトは設定なしの空欄

※セキュリティー機能を高めるためにはパスワードを設定されることを推奨します。設定したパスワードは忘れないように記録しておいてください。DVR へのパスワードの設定は最後のページをご参照下さい。

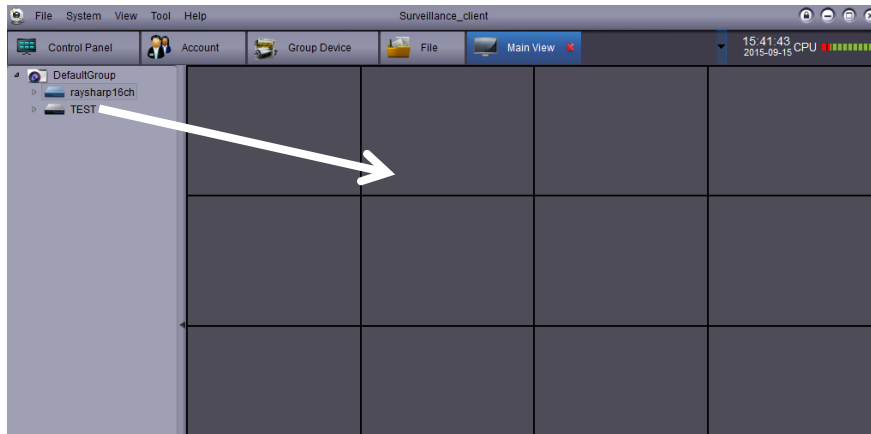


5、「Add」ボタンをクリックし設定終了。

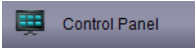

6、画面中央の「Import All」ボタン をクリックすると、画面右側に DVR が追加される。


7、「Main View」タブ をクリックすると次のような画面が表示されます。

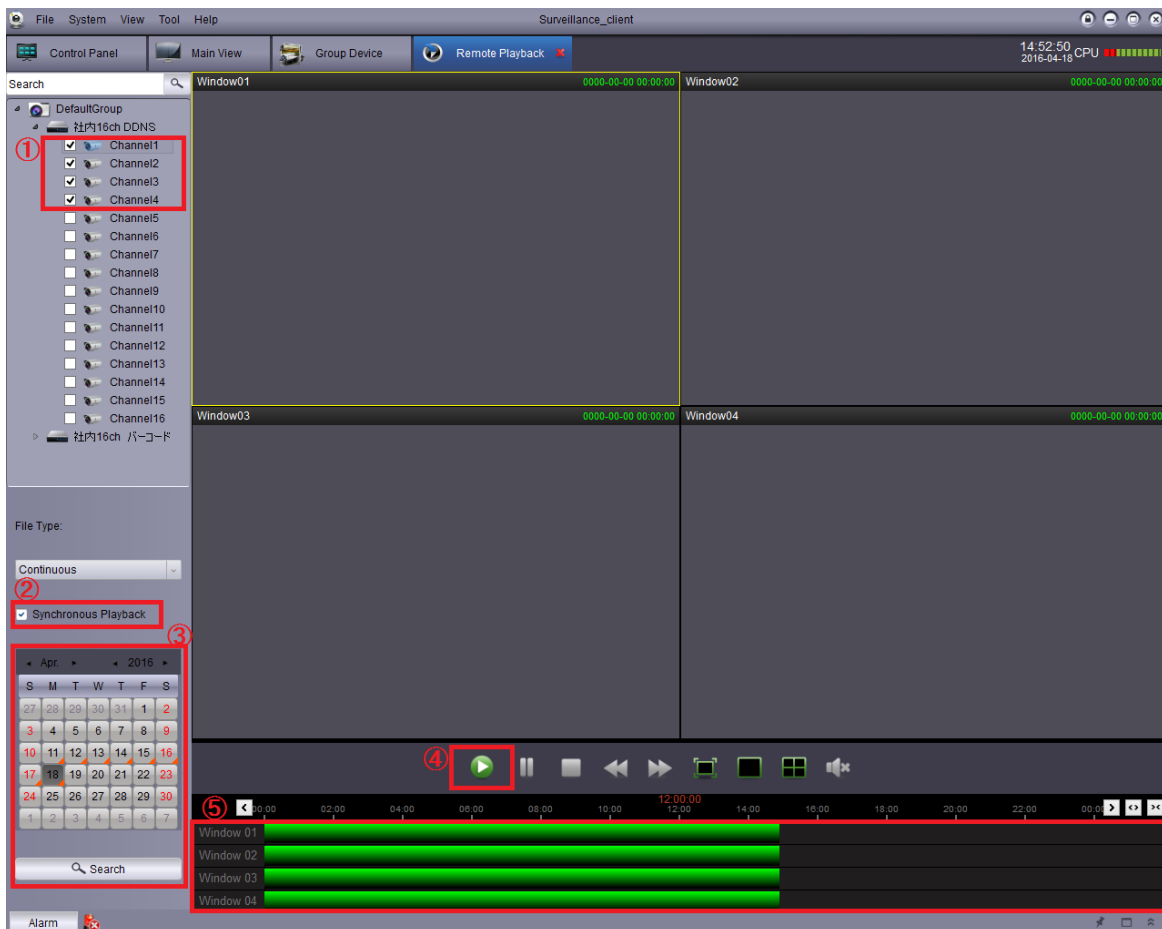
追加した DVR のアイコンが左側に表示されるので、映像表示画面までマウスでドラッグ & ドロップすると DVR のライブ映像が表示されます。



録画の再生

「Control Panel」タブ  をクリックし、表示されたアイコンから「Remote Playback」アイコン  をクリックし、遠隔再生画面を開きます。

- 1、再生したいカメラにチェックを入れ、カレンダーの日付をクリックします(最大 4ch同時再生)。
- 2、複数台のカメラを同時に操作したい場合は、Synchronous Playback にチェックを入れます。
- 3、再生したい日付をクリックし「Search」ボタンをクリックします。
- 4、再生ボタン  をクリックすると再生が始まります。
- 5、再生時刻を変更するには、画面下部の緑のタイムバーで希望の時刻をクリックします。



パスワードの設定方法

1、DVR のパスワードの設定

- ①メニューに入り、システムをクリックする。
- ②ユーザーをクリックする。
- ③編集をクリックし、パスワードを「有効」にし、パスワードを入力し、保存する。



2、遠隔監視ソフトのパスワードの設定

パスワードを設定するには、Control Panel > Account Management とクリックします。

Account Management の中に入ったら、以下の手順でパスワードの設定を行います。

- ①パスワードを設定したいユーザーをクリック
- ②Modify をクリック
- ③パスワードを入力
- ④確認のためパスワードを再度入力
- ⑤Save をクリック

